



首里人(すいんちゆ)の文化研究会

首里人の文化研究会は、大正十二年から昭和十三年生まれの女性たちのグループ。首里城の復元を機に結成され、首里の家庭で行われてきた年中行事や通過儀礼などの収集を行い、「昭和時代の首里の日々」を発行してきました。明治時代の祖母・母の世代から聞き取った内容は、各家庭固有の習慣や文化として、相違点も含めて素直に記録したそうです。二〇〇六年三月に発行された、わらわったのCDとテキスト「子育てわらわったー首里編ー」NPO法人「うていーらみや発行」では録音にも参加しました。

同じ首里の家庭でも、かつての家柄や地域性、年齢などで言葉の言い回しや習慣も大きく異なるそうです。月一回の会合では、日常感じた疑問点を語り合い、わらわったが飛び交う和気あいあいとした場面もみられます。「私たちの作業を土台に、次の世代の女性の視点で『平成の首里の日々』を発行してほしい」と世話役の比嘉文子さんは次世代への期待を語ります。



首里人の文化研究会の皆さん



ウゲシク情報
ウゲシク(御城)とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方を使います。

首里城・「書院・鎖之間」一般公開

「書院・鎖之間(しよいん・さすのま)」とは、首里城南殿の裏手に位置する建物。南殿の二階部分と渡り廊下でつながっていました。

書院は国王が日常の執務を行った建物であり、取次役や近習(きんじゅう)などの役人がその周辺に控えていました。三司官(大臣)はこの取次役を通じて国王に面会し、報告を行なうとともに指示を仰いでいました。

また、中国皇帝の使者(冊封使)や那覇在住の薩摩役人を招き、ここで接待することもありました。

一方、鎖之間は王子などの控所であり、諸役の者たちを招き、懇談する施設だったといわれています。

このたび、この書院・鎖之間を一般公開いたします。往時の雰囲気を感じさせる木造の建物をぜひご覧ください。



- 公開開始日: 平成19年1月27日(土)
- 場所: 首里城公園 有料区域

平良町が首里区編入100周年

首里平良町は、一九〇六(明治三十九)年に西原間切(現西原町)から首里区に編入された地域。その百年の節目を祝い、十一月十日に平良町公民館広場で記念祝賀会が催されました。昼間には奉納角力(フモウ)も行われ、舞踊や平良町エイサーなど平良町の魅力が集まった会は多くの人々で盛り上がりしました。



フィナーレの平良町エイサー

首里城まつり

昨年引き続き「首里城花まつり」が開催されます。海洋王国として繁栄した琉球王国。進貢船などの草花の造形物で琉球王国の姿を再現します。また、開催期間中は、ラン人形の展示やイベントなどが行われます。

皆様のお越しをお待ちしております。

- 日時: 平成19年1月27日(土)~2月25日(日)
- 場所: 首里城公園 入場無料(※正殿のある区域は有料。)
- お問い合わせ: 首里城花まつり事務局(首里城公園管理センター内) 電話: 098-886-2020

Vol.6 SHURIKAWARABAN 首里かわらばん

特集 儀保駅周辺エリア

インタビュー
首里・儀保駅スージグワの会
金城 英輝さん

首里には琉球王国時代の宿道やスージグワ(小路)が残されており、かつての面影がいたるところにみられます。儀保駅周辺を中心に首里のまちを紹介する活動をしている金城さんにお話をうかがいました。



金城 英輝さん

「写真展」をあわせて行いました。また、この年から首里地域の小学生を中心に、「ゆいレールカップ少年サッカー大会」も毎年催しています。二〇〇五年八月十日の沖縄タイムスでは「首里・歴史の道」という特集の企画も担当させていただきました。こうした活動が、現在はポスター、散策マップ、案内看板に発展しつつあります。

スージグワの会の取り組み

記者: 首里・儀保駅スージグワの会ではどのような活動をされていますか?
金城氏: この会はスージグワを中心とした首里のまちを紹介することを目的に、地域や事業主で結成されました。二〇〇三年八月に儀保駅で地元主催のモノレール開通式をしたのが活動のはじまりで、都ホテルと儀保駅で「スージグワ



首里公民館の講座の風景 (首里公民館提供)

記者: 古都・首里をテーマにした「首里城・首里巡り」は、印象的なマップだと思いますが。
金城氏: 実はこの散策マップは今回で三代目になります。最初は儀保駅周辺にこだわったマップだったのですが、賛同してくださる方が増えたこと、首里地域全体に視点が向かうようになったことから現在の範囲になっています。マップの下図は私が描いたのですが、家族にも毎晩遅くまで付き合ってもらい道の表現を何度も描き直して完成させました。仕上がるまではワクワク・ドキドキの毎日でしたよ。ですから皆さんに愛されるマップになって欲しいと思っています。



金城さん作成の「首里城・首里巡り」マップ

儀保駅周辺の魅力

記者: 会の名前になっている儀保駅のスージグワ。その魅力はなにかですか?
金城氏: 首里城から儀保駅にむけて、琉球王国時代の宿道が二本並行していますが、この道の口ケーションの違いが面白いですね。また首里城から下る丘陵「帯は、御殿(ウッドワン)・殿内(トワンチ)

首里城から このコーナーでは首里城の職員を紹介します。

首里杜館売店
「紅型」を担当する仲井間さん
地元首里高校出身なので馴染みある場所での勤務です。首里杜館には観光客のお客様だけでなく、城西小学校の生徒さんや近所の方々から立ち寄ることも。「首里城限定のオリジナルお菓子は美味しいのでオススメですよ」と、満面の笑顔をみせてくださいました。

首里城公園管理センター
事業運営係 仲井真 綾子さん



情報お待ちしております。

首里かわらばんでは、首里地域の歴史文化を楽しめる情報紙づくりを目指しています。身近にある首里の魅力、地域の活力、地域の情報提供をお待ちしております。

●お問い合わせ 事務局 TEL 862-2390



SHURIKAWARABAN Vol.6
首里かわらばん 第6号
2007年1月発行

編集 首里かわらばん編集会議

事務局 内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課
〒900-8530 那覇市前島 2-21-13
TEL 098-862-2390 FAX 098-866-3044

発行 (財)海洋博覧会記念公園管理財団 首里城公園管理センター
〒900-8815 那覇市首里金城町1-2
TEL 098-886-2020 FAX 098-886-2919

タイトルデザイン 石原左内
首里城公園ホームページ <http://www.shurijo.com/>

語句解説

◆宿道 首里城を起点に地方へ延びる公道幹線道路。

◆御殿殿内・琉球の上流階級である士族の屋敷。

「首里城・首里巡り」は、モノレール駅、首里城公園などで配布しています。

首里 儀保駅スージグワの会ホームページ
首里城ネット <http://www.shurijo.net/>

記者: 今後の活動の展望は?
金城氏: 現在、首里公民館でも「古都首里再発見」をテーマに地域マップを作る講座があり、一緒に参加しているところです。マップ製作をとおして、首里全体の人々のつながりに発展しています。また十一月からは手作りのホームページを開設しました。マップでは表現できないスージグワの楽しみ方を新たに紹介していければと思っています。

記者: ありがとうございます。